

慈明院寺報十二月号

へびと弁財天



七福神の紅一点に「弁財天」という神様がいます。

女性のお姿をされていて琵琶のような楽器を持っている事が多い。また八本の腕を持っている姿をされている事もあり、有名な琵琶湖の竹生島の弁天堂には八本の手をもった大きな弁財天が祀られている。

弁財天はもと河の神様で、川の流れる水音が音楽にたとえられて音楽の神様になり、その音楽の教えを巧みに伝える神様が変わっていったそうだ。そして学問や幸福・財宝の神様としても信仰されていき七福神の一人となった。

大黒天のお使いはネズミという。弁財天にもお使いの動物がおりへびだと云われている。毎月の巳の日が弁財天の縁日とされるところから、お使いがへびになったようである。日本ではへびは神聖な生き物とされ、神道でも大変霊験のある動物として扱われ、へびの抜け殻を財布に入れておくと、財産が増えるという信仰も生まれた。

江ノ島にこんな弁財天の言い伝えがある。昔、武蔵国と相模国の境に深沢と呼ばれる大きな湖があった。そこには七百才をこえた大蛇である龍が住んでいて頭が五つもあった。その大蛇が凶暴になり人を食べたりしたので、人々は恐れて不安な日々を送っていた。この時、弁財天が大蛇である龍に語りかけ「おまえが悪さをやめて人々を守る守護神になるなら、あなたの嫁になって夫婦の契りを結ぼう。」と訴えた。龍も弁財天の美しさに悪行を戒めて、人々を守る守護神になったという。これは「江島縁起」という江島神社開創の伝説と伝えられている。

へびの苦手な方も多いと思うが、お嫁さん次第といった所だろうか（笑）ちなみに住職・へび年生まれ四十八才、未だ独身。やぶへびだな。住職合掌

新年のご案内 初大黒天 護摩祈願法会

正月元旦、恒例の「令和七年 初大黒天 護摩祈願法会」を左記日時にて奉行致します。皆様ののご参拝をお待ちしております。（詳しくは別紙参照）

一番座

一月一日 午前0時より（大晦日の夜中二十四時より）

二番座

一月一日 午後二時より（正月元旦のお昼十四時より）

*古いお札・お守り等、当日お持ち下さい。後日供養致します。

*紅白もち、縁起物のお菓子をお接待致します。

（来年）令和七年の年忌について

一周忌	令和六年	逝去
三回忌	令和五年	〃
七回忌	令和元年	〃
十三回忌	平成二十五年	〃
十七回忌	同二十一年	〃
二十三回忌	同十五年	〃
二十五回忌	同十三年	〃
二十七回忌	同十一年	〃
三十三回忌	同五年	〃
三十七回忌	同元年	〃
五十回忌	昭和五十一年	〃
七十回忌	同三十一年	〃
百回忌	同元年	〃

来年 令和七年に年忌を迎えられる仏様の亡くなられた年の一覧です。参考にして頂き、法事の希望などございましたら、電話でご連絡下さいませ。

年忌の法事はご命日より前に行う場合が多いですが、必ず前でなければならぬという訳でもありません。

命日を過ぎて、ご法事をなさっても大丈夫ですし、都合の良い日にちでのご供養して頂ければと思います。

*（昭和六十四年）は（平成元年）（平成三十一年）は（令和元年）と同年。

慈明院（〒八一一一三三）福岡市早良区大字西二三四一（二〇）

TEL（〇九二）八〇四一四五七〇 FAX（〇九二）八〇四一四六〇五

住職・吉住大慈 携帯電話〇九〇一（五二八一）一七四九四